

## 令和元年 萩市議会 9月定例会

### 一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	2	小 林 富	9月9日午前
2	10	美 原 喜 大	
3	3	瀧 口 治 昭	午後
4	13	西 中 忍	
5	7	石 飛 孝 道	
6	6	五十嵐 仁 美	9月10日午前
7	9	松 浦 俊 生	
8	18	宮 内 欣 二	午後
9	8	佐々木 公 惠	
10	5	村 谷 幸 治	
11	1	浅 井 朗 太	9月11日午前
12	4	松 浦 誠	
13	12	関 伸 久	午後

質問順位	1	質問者	小林 富 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市の広報活動の在り方について	<p>1. 萩市が管理する主にフェイスブックなどの SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)の今後の管理・運用について</p> <p>SNS は市外・県外だけでなく海外に対しても情報発信や相互にやり取りも出来ることから有効な手段です。</p> <p>現在の萩市では、複数のアカウントが存在していることから各部・各課で情報発信をしています。</p> <p>今後、一元化することで情報を効率よく発信する、また、複数アカウント管理するよりも一元化することで責任と役割を明確化し、シティセールス（自治体の宣伝）を積極的にする取り組みも増えており、萩市でも体制を改める必要があると思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>2. SNS が防災の役割を十分に果たしていないことについて</p> <p>SNS の役割が大きくなる中、災害に備えた警報や気象情報など注意喚起などは防災メールと比べ圧倒的に少ないのが現状です。</p> <p>過去に大規模な災害を経験した萩市だからこそ上記の体制変更と必要な情報発信に努めるべきだと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>3. 萩市報（広報はぎ）の発行回数について</p> <p>現在の月 1 回発行から以前の月 2 回発行へ希望する声を多くお聞きします。市民に身近な情報から緊急性を要するものまで幅広く伝達する手段として有効であり、かつ、特に旧郡部や高齢者の方々には重要な情報手段であり、発行回数の減少（月 2 回発行から月 1 回発行）による経費削減の結果と市民への暮らし満足度を再度、比較・検証すべきではないでしょうか。</p>		
2. 萩市の伝建地区および景観の保全について	<p>1. 萩市はこれまで歴史的景観の保全と調和のとれた良好な景観の形成に取り組んできたことで街の大きな価値向上へとつながっています。</p> <p>現在予定されている建築計画および出店計画についてこれまで取り組んできた萩市の取り組みに大きな影響が予測</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>されるため、萩市の今後の対応および再発防止策をお聞きします。</p> <p>(1) 堀内地域の伝建地区（伝統的建造物群保存地区）への建築計画について</p> <p>堀内の伝建地区の特徴である鍵曲周辺へ予定されている集合住宅は鍵曲の特性を損なう恐れがありますが、今後、どう対応しますか。</p> <p>(2) 萩市民館レストランへの出店計画（コンビニエンス・ストア）について</p> <p>市民館レストランへの出店計画については市民の皆さまの関心が高く多くの質問やご意見をいただきます。</p> <p>位置する場所は中心部であり、かつ、公的な施設であることからこれまでの歴史的景観の保全と調和のとれた街づくりに配慮する必要があります。</p> <p>現計画では地域全体の景観および萩市民館の意匠に影響が出る可能性があると考えますが、今後、どう対応しますか。</p>

質問順位	2	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 藩校明倫館復元事業（孔子廟移転）についての市民の意向は何処に	<p>1. 6月議会の全員協議会及び今回の市長報告で、孔子廟の移転はしないとの報告があった。市民ファーストを標榜される市長は、市民の意見・意向をどのように把握され、結論に至ったか。その経緯について聞く。</p> <p>2. 藩校明倫館復元（復元後は日本一の施設になり得る）事業について、萩市の歴史・文化のまちづくりの象徴としてどのように考えておられるか。</p>		
2. 道路の利便性の確保について	<p>1. 農道橋（小島～梶久）の通行確保についていつまで通行止めとしておくのか。今後の対応を聞く。</p>		

質問順位	3	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 鳥獣害対策について	<p>1. 昨年の9月定例議会においても鳥獣に因る被害に対しての対策と取り組みについてお聞きしたところですが、駆除数については成果が上がっているとの事でしたし、対策も行っているとの回答でしたが、相変わらず住民より農地や農作物についての被害の苦情を多く耳にします。担当課と、被害を受けている住民との意識の食い違いが気になり、令和元年度現在の鳥獣害対策はどのように出来ているのか、また、職員による駆除隊の解散後、新たな市の取り組み方針があるのかお聞きします。</p>		
2. NPO 法人による委託事業について	<p>1. 萩市は現在、図書館、博物館、明倫学舎をそれぞれ NPO 法人によって委託管理を行っています。委託管理といっても3施設がみな同じ委託内容では無いことは勿論の事ですが、それぞれ市にとって、また市民にとって大切な施設であると考えます。新年度予算決定後、委託料の支払いについて半年ごとの見直しを条件にされていると地方紙の記事で知りました。確かに合併後の財政の優遇措置が解消されていく中で行財政改革を行うことは必要な事であるとは思いますが、市民にとって必要な施設については市民に対しての受益効果を十分に勘案するべきと考えますがどうお考えでしょうか。また、3施設の運営について、それぞれ今後どの様にして行く方針であるのかを、お聞きします。</p>		

質問順位	4	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 土原プールと土原保育園の跡地を活用した市民が憩える場所はないか</p>	<p>1. 平成 28 年 6 月議会で土原プールの廃止が決定し、本年 3 月には隣接する土原保育園も閉園され、どちらの施設も使用されないまま現在に至っています。</p> <p>私はこの 2 つの施設は市内中心部に位置していることから、平成 28 年 9 月議会の一般質問で、この施設の利活用について市の考えを質しています。</p> <p>その時、当時の市長は土原プールについて「平成 9 年の時点で、利活用できるまで使うけれどもその後は廃止と位置付けられていた」と答弁した上で、その理由を気象台の測候所があるためだとしています。</p> <p>また、土原保育園については早急に結論を出すとの答弁をされています。</p> <p>そこで、現在この 2 つの施設の跡地を含めた活用方法をどう考えているかお尋ねします。</p> <p>また、子育てをしておられる方々から、芝生化されている園庭を使用することは出来ないかというご意見をお聞きしていることから、私はとりあえず園庭を市民に開放してはどうかと考えていますし、土原プールを改修するとともに、幼児でも安心して遊ぶことができる水辺をつくり、芝生の園庭を活かした市民が憩える場として活用できないかと思っておりますが、市としてどのように考えているかお尋ねします。</p>		
<p>2. 旧明倫小学校の体育館を子どものあそび場として改修できないか</p>	<p>1. 旧明倫小学校の体育館は、平成 20 年度に市内の学校施設で最初に耐震工事が行われ、安心して使用できる施設となりました。</p> <p>しかし、旧萩藩校明倫館復元整備事業で、孔子廟を移築するために解体するとの方向性が決定されましたが、その後に行われた市長選挙で藤道市長が誕生したため、解体されることなく現在に至っています。</p> <p>私は「有るものは大切にする」という考えを持っていますので、耐震化され安心して利用できる市民の貴重な財産であるこの体育館を、有効的に活用しなければいけないと考えています。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>一方で、平成 29 年度の教育民生委員会として子育て世帯のお母さん方からお聞きした子育て環境の課題として、特に小さな子どもが雨天でも安心して遊ぶことができる場が少ないという指摘をいただいていることから、この体育館を子ども達が安心して遊ぶことができる場にするとともに、子育てに関する相談等ができる子育ての拠点施設に改修できないかと考えています。</p> <p>そこで、市としてこの体育館をどのように活用していこうと考えているかお尋ねします。</p>
<p>3. 将来の萩市を担う世代の意見を積極的に取り入れた市政運営が必要ではないか</p>	<p>1. 若者の市外流出や少子化に歯止めがかからない現状は萩市の抱える大きな課題です。</p> <p>この課題は、市の現状にも大きな影響を与えていますが、それにもまして将来にさらに大きな影響を与えるのではないかと心配しています。</p> <p>しかし、一方では将来を担う若い世代の方々が市内で仕事や子育てなどで頑張っていることも事実です。</p> <p>このような状況の中、私は将来を担う若者に自分たちが担う萩市の将来について主体性をもって考えてもらい、その将来のために今何をするかということを実際に議論する必要があるのではないかと考えています。</p> <p>そこで、市内で頑張っている若者たちが集い、自由な意見交換をする中で、市政への提言など行うような組織を創設し、その提言を施策に反映させる仕組みを作る考えはないかお尋ねします。</p>

質問順位	5	質問者	石 飛 孝 道 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 明神池の環境整備について	1. 水質調査について 2. ヘドロの堆積状況について 3. 潮変わりの状況について		
2. クロマグロ漁獲規制について	1. 萩沖の日本海クロマグロ資源の状況について 2. マグロ・ヨコワ漁に従事されている漁業者への支援について		



質問順位	6	質問者	五十嵐 仁 美 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 国民健康保険について	<p>1. 2018年度の1人当たりの萩市の医療費はどのくらいか。</p> <p>2. 医療費削減のために、どのような取り組みをしているか。</p> <p>3. 2019年度の萩市の国保料は、なぜ引き下げることができたのか。</p> <p>4. 萩市の2018年度の特健康診査の受診率、特定保健指導の実施率、後発医薬品の使用割合は、それぞれどのくらいか。</p> <p>5. 4の受診率などの割合を上げるために、どのような取り組みをしているか。また、重症化予防の取り組みはどうなっているか。</p>		
2. 学級崩壊について	<p>1. 学級崩壊だと思われる学級が、現在、市内の小中学校にどのくらいあるか。</p> <p>2. 学校は、どのような手順で、どのような形で対処しているのか。</p> <p>3. 保護者への説明会や懇談会は行っているか。</p> <p>4. 平成30年度の小学校でのいじめ、中学校での不登校、小中学校での暴力行為が前年度より増えているのは、関連があるか。</p> <p>5. 崩壊状態になると、子どもの学力が極端に下がることが懸念されるが、対策はとられているか。</p>		
3. イージス・アショア配備について	<p>1. 市で、今どのような独自調査が行われているのか。また、その進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>2. その独自調査の結果は、議会や市民に知らせるのか。</p> <p>3. ルーマニアに行って、どんなことを確認するのか。</p> <p>4. いつ、何人行き、予算はどうなっているのか。具体的な計画はたっているのか。</p> <p>5. 市長は国益よりも、市民の安心・安全を守ることを第一に考えるべきではないか。</p>		

質問順位	7	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市道（周辺部）の維持管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 市道路肩部分の草刈り等の委託契約について</li> <li>2. 委託された草刈り等は年に何回実施されているのか。</li> <li>3. 道路周辺の支障木等の処理対応について</li> </ul>		
2. 消防職員採用で女性枠を設ける意義について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 萩市及び県・全国の女性消防吏員の実態について</li> <li>2. 県下の他市消防での女性枠採用の事例について</li> <li>3. 採用試験の内容等で男性と女性とで違いがあるのか。</li> </ul>		
3. 鳥獣対策（ヌートリア）について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 萩市管内のヌートリアの生息状況について</li> <li>2. 萩市管内でのヌートリアの被害報告について</li> <li>3. ヌートリアの駆除及び捕獲について</li> </ul>		

質問順位	8	質問者	宮内欣二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. イージス・アショア迎撃ミサイル基地の自衛隊むつみ演習場への配備計画について	<p>1. 市の検証は、どんな方針で、何をどのように進めているか。</p> <p>2. 検証期間はどの程度になるか。</p> <p>3. 検証結果について、住民説明会を開くか。</p>		
2. 韓国姉妹都市との友好関係の維持について	<p>1. 日本と韓国の関係悪化が進んでいるが、韓国の姉妹都市蔚山市、霊岩郡徳津面との友好関係と市民交流を、いっそう進める必要があるのではないか。</p> <p>2. 政府に対し、平和と友好関係を築くよう求める必要があるのではないか。</p>		
3. 補聴器購入への助成制度創設について	<p>1. 高齢社会になり、補聴器を使う人が増えている中、負担が高額になるため、十分な機能が使えない人が居る。助成制度を設け、購入費を補助する必要があるのではないか。</p>		
4. 防災情報の多様な伝達方法について	<p>1. 防災情報が萩市ホームページに示されないのはなぜか。</p>		

質問順位	9	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 新生児聴覚検査について	1. 新生児聴覚検査の受検者数・受検率は。 2. 新生児聴覚検査の結果の状況把握は。 3. 新生児聴覚検査を受けられなかった児への対策は。 4. 新生児聴覚検査への公費負担を。		
2. 人生の最終段階における医療について	1. 在宅や介護施設での看取りについて現状と課題は。 2. 自分が元気なうちに将来の医療やケアについて自分の考えをまとめておく、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の取り組みは。		
3. 国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）を市政にどう活かすか	1. SDGsの認識について 2. SDGsを見据えた市の取り組みと課題について		

質問順位	10	質問者	村谷幸治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市内小中学校校舎の安全管理について	1. 市内学校施設における「長寿命化」の策定について		
2. 鳥獣被害対策について	1. 現在の取り組み状況について 2. ICTを活用した取り組みについて		

質問順位	11	質問者	浅井朗太 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 海辺空間の保全と市民に親しまれる場としての海岸・海水浴場の環境整備について	<p>1. 萩市には、北長門国定公園に指定されている海岸及び見島など離島の海岸には、数多くの海水浴場をはじめとする、環境保全的側面と観光や市民利用の側面をもつ多様かつ貴重な環境があります。そこで、最も訪問利用者の多い菊ヶ浜海水浴場を中心とした夏季の海水浴場環境整備について、将来的な提案も含めて質問致します。</p> <p>まず、漂着ゴミを除く、海岸利用者によるゴミや不法投棄などのゴミ問題が少なからず存在していると認識しています。特に市内外からの訪問利用が増える夏季においては、遊泳禁止であり監視員の配置されていない海岸・海浜も含めてゴミの放置が極端に増加する時期であります。</p> <p>ほかに、季節限定的に急増する利用者の対応の課題として駐車場問題が挙げられます。違法駐車といった利用者側のマナーだけでなく、限られた駐車場の中でさらに利用者を受け入れる体制をいかに形成していくかといった課題もあります。</p> <p>行政事業の基本とされている PDCA サイクルで言えば、海岸海浜利用の環境整備という観点において、一年の繁忙期を終えたばかりの今は、チェックの期間に当たり、次のアクションへ向けての振り返り・課題検討の時期に当たります。このタイミングで以下、提案を含めて、自然生態系に配慮した海辺空間の保全、環境保全機能の維持、良好な景観形成と同時に市民・観光客に親しまれる場としての整備について逐条的にお伺いします。</p> <p>(1) ライフセーバーによる遊泳区域内監視だけでなく一定程度の利用者が見込まれる海岸周辺全域に監視・ガイドを配置し、適切な海岸利用の啓発促進を進めてはいかがでしょうか。</p> <p>(2) (1)に準じて、海岸・海浜に、分別可能なごみ箱の設置をすることで、利用者のマナー向上、不法投棄予防に取り組むことは検討されないでしょうか。</p> <p>(3) 駐車場については、遠隔の駐車場に割安料金設定、シャワー設置、ビーチサイクルレンタルなど複合的なサービス</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>ス提供により、菊ヶ浜駐車場の利用客分散、駐車マナー問題の改善、さらにサイクルシティとの連動、観光客の周遊性拡大など相乗効果を生み出すことができると考えられるが、市としては課題検討されないでしょうか。</p> <p>以上、美しい海岸を保有する自治体として、地域資源を活かした地域活性化策として積極的に取り組むべき課題と考えますが、市としての認識見解をお尋ねいたします。</p>
<p>2. イージス・アショア配備計画に係る市の対応について</p>	<p>1. 「再説明に向けた今後の準備作業等について」（イージス・アショアの配備関係）資料が8月28日に公開されました。秋田県では、6か月半をかけて、18か所の国有地の遮蔽条件の測量調査及びインフラ条件等の評価を行うとのこと。一方、萩市むつみ演習場周辺は、データに齟齬のあった西台の航空測量調査と遮蔽角の算出を行うことに2か月を要するのみとのこと。2018年中に既に実施済みと思われていた航空測量調査を再度行うことを含めて、再調査に入る当計画に係る市の対応についてお尋ねします。</p> <p>まず、5月28日の各種調査の結果の防衛省の検討結果の説明を受けて、萩市は第4回照会を行い文書回答を求めましたが、その回答については公表されていません。現在どのような扱いとなっていますか。</p> <p>また、市独自の検証を行う方針を示されましたが、その後の進展をお聞きします。</p> <p>さらに、水質調査の一環で行われた年代調査の調査地点ごとの調査結果の公表が、住民要望があるにも関わらずなされていないとのこと。市はどのように把握されていますか。</p>

質問順位	1 2	質問者	松 浦 誠 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 地域公共交通網形成計画の案について		1. 地域内を巡回する交通手段の確保について	
2. かんきつ公園について		1. かんきつ公園の現状と、今後の維持・管理について	



質問順位	13	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 「はぎBiz」は確実な成果を出せるのか	<p>1. 萩市のビジネスチャレンジサポートセンター「Hagi-Biz」のセンター長が全国188名の公募の中から選考を経て決定した。</p> <p>採用予定者は東京都在住の32歳の女性であり、これまで化粧品業界、ペット業界で勤務され、主にはデザインに携わってきた方と仄聞している。</p> <p>3月定例会の予算委員会でも申し上げたことであるが、この事業の成否はセンター長である。どのような人物が選考されるかで事業の成否は大きく左右される。</p> <p>今後、センター長はHagi-Bizで中小企業の個別経営相談事業や売上向上・創業支援を通じて活動を展開し、年収1,200万円の高額報酬が支給されると聞いている。ついては、萩市のおかれている状況を理解の上、確実に成果を出せる人物を萩市は選考したのか。</p> <p>先の観光DMO人事では、専担者を任期途中で交代させるなど、人事をめぐる迷走振りは市民の記憶に新しい。</p> <p>今回のHagi-Bizでも、観光DMO同様に1年毎の契約で、業務評価により処遇の見直し、契約の更新を判断するという。</p> <p>何をもって評価の物差しとするのか訊ねる。</p> <p>最後に萩商工会議所との業務の棲み分けもどのように行うのかも訊く。</p>		
2. 三見地区に農業・漁業従事者むけの専用住宅を	<p>1. 三見地区に農業・漁業従事者むけに専用住宅がつかれないか。</p> <p>同地区は昔から農業、漁業が盛んな地区ではあるが、市内の他の地域・地区同様に従事者の高齢化が進み、担い手が不足している。</p> <p>農業従事者の平均年齢は75歳前後と言われ、当地区の漁業従事者にあたってはその半数は70歳を超えている。</p> <p>特に漁業では1日の操業時間の中心が夜間となる為、三見地区で漁業に従事するにあたっては、同地区に住まうことが望ましいとされている。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>一方で、同地区に空き家は存在するものの水洗化されていない住宅が大半であり、水洗化するとなると300～500万円の改修費用が必要になる。それでは若い従事者は永遠に現れない。</p> <p>三見地区は萩市西部に位置するものの、萩三隅道路の恩恵もあり、市内中心部へのアクセスは格段に優れる。また保育園、小中学校ともに存在し、自然環境に恵まれることから、子育て環境に恵まれている。ついては若い従事者むけに専用住宅の整備ができないか。</p>
<p>3. 下水道行政の大幅な見直しを行うべきではないか</p>	<p>1. 萩市の下水道行政について問う。これまでに何度となく一般質問に取り上げてきたが、萩市が抱える大きな課題として再度お訊ねする。</p> <p>萩市上下水道局においては、この8月に下水道事業計画区域内で未整備の市民を対象にアンケートを実施している。これについてもお訊ねするが、印象としては遅きに失した感がある。</p> <p>萩市の公共下水道事業は昭和53年に事業着手し、約40年が経過しているが、その整備率はいまだ76.6%である。そのような状況下、国土交通省は令和9年3月末までに下水道の整備を完了する様、促していると聞く。</p> <p>そこでお訊ねする。国が令和9年3月末までに整備を促す背景には何があるのか。次に萩市はどういうスタンスでこれに対応するのか。8月に実施したアンケートでは、下水道が整備された場合の受益者負担金に触れつつ、合併浄化槽設置の際の補助金を示しつつ、また公共下水道と合併浄化槽の費用比較を参考資料として添付している。これらはある意味、誘導的なアンケート・資料であり、これらから読み取れるものはない。例えば、新規で住宅を建てる場合にはこの費用比較は大いに参考になるかもしれないが、アンケートの対象者は既存の居住者である。既存の居住者のほとんどは合併浄化槽で対応している為、合併浄化槽から公共下水道に切り替える場合は負担がかかるだけという話である。よって必然と公共下水道は敬遠される。そもそも、こういうアンケートは認可区域を定める時に行うべき</p>

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>であり、今、アンケートを行う理由は、すでにある答えに導くものと言わざるを得ない。</p> <p>現実には、下水道の認可区域で長年下水道の敷設が進んでいない地区はその間高齢化が進み、下水道の敷設が行われたとしても、多額の工事費用を伴う接続工事を望まないとの声を聞く。そこで提案したい。令和9年3月末まで時間の猶予はない。</p> <p>認可区域の大幅な見直しを行って欲しい。認可区域であっても、前述の高齢化が進む地区は住民の同意を前提に取り下げをする一方、認可区域外でも人の多く集まる施設周辺や車の往来の多い商業利用が見込まれる地区は思い切って認可区域とし、下水道の敷設を急ぐべきである。これまでのように地区毎にそれも広範囲に設定するのではなく、幹線道路沿いを優先に認可区域とし、併せて商業集積を促すべきである。それが萩市の下水道行政の肝だと思うが、市はどのように考えているのか。</p>